

平成29年度第3学年 学年通信	Boys and girls , be	第34号(通算122号)	
『自立と協調～そして感謝と思いやり』	Ambitious	11月	14日

人権学習スタート！あらためて自分を見つめ直そう。

毎年この時期、本校では各学年で「人権学習」を行っています。学年ごとに段階的にテーマが設定され、3年生は「就職(における)差別」をとりあげることにしています。それにのっとり、今年も、就職差別をとりあげることにしました。

そもそも「差別」とは何でしょう。私流に言えば、「合理的な理由もなく、その人を不平等・不公平に扱い、その人が平和で自由に、楽しくのびのびと、夢と希望を持って生きる権利をうばうこと」です。(「合理的な理由」があれば、差別をしてもよいのか、ということにはなりません。合理的な理由がある場合は「差別」ではなく「区別」ですから…。)

この授業に先だって3年生92人に人権アンケートを実施しました。その結果の一部(で気になるもの)を抜粋すると

①あなたにとって今の学級は安心できる場所だと思いますか？ …肯定的な回答89%

→残りの11%が心配です。教室がもっと居心地のいい場所になるよう(先生も含めて)みんなで努力していこう！

②学級の誰かがいじめられているとき、どのように考えますか？ …時と場合によっては仕方がない 14%

なんともしらない

2%

⇒「なんともしらない」は実に悲しい、淋しい限りです。自分の友達(や自分自身)がそんな目にあってもそんな「超越」態度でいられるでしょうか。1組で「時と場合によって」とは、どんな時でどんな場合？ そもそも、いじめが許される場合ってあるのかな？ …と聞くと、いじめをしていた人に対しての「反撃」みたいなもの、という答が返ってきました。

すると、すかさず「そんなん同罪やん」と鋭いツッコミが…。まっとうな考え方が生徒の中にあることにほっとしました。人権学習の1回目(9日)は、このアンケート結果について、感じたことを出しあう授業でした。授業後の感想は、

●まわりのことを見ていないと答えられない質問は少々きつかった。でも、まわりのことがあまり見えていない人でも自分のことはしっかり見つめ直してアンケートに答えていたからいいことだと思った。こういった自分を見つめなおすような機会を設けることで、より多くの人々が自分を理解し、その自分の気持ちから相手の気持ちやまわりの人の気持ちを考えていけるようにするべきだと私は思いました。

●自分が思っていることと全く違う意見がたくさんあってびっくりしました。「なんともしらない」というのは特にびっくりしました。…(略)…誰もが一つひとつの意見をしっかり受け止めることが大切だと思いました。

●人権意識について、すごく考えさせられました。

●…(略)…班の人の意見をきくといろいろな意見がありました。みんなでいじめをなくしていきたいと思いました。

●いじめのことを何とも思わない人やいじめてしまう人がいることがとても悲しいと思いました。そのような人たちが、いじめに対してよくないなどの考えを持ってほしいし、自らいじめをとめれるような人になりたいと思いました。

「学びの一体化」のとりくみで、下野小に歌いに行きました。

文化祭・合唱コンクールが終わると、保幼小中の学びの一体化(=交流)のとりくみの一環として、3年生全員が下野小学校へ歌いに行くのが、毎年恒例となってい(八郷西小には行きません、申し訳なく思います)。今年もその日が来ました。保育園・幼稚園・小学校・中学校の全員でゼリーブを謳ったあと、下野保育園・下野中央保育園・下野幼稚園の合同合唱、小学校6年生の合唱を聞きました。どちらも元気いっぱいのできな合唱でした。3年生は、文化祭で歌った「桜散るころ」「あなたへ」の2曲を歌いました。小学校の校長先生から「さすが中学生！」とお褒めの言葉の言葉をいただきました。

●久しぶりに小学校へ行った。とてもなつかしくて、体育館が小さく感じた。

●昨日小学校に行って歌を歌った。なつかしかったです。かわいかった～

●…(略)…間違えたいけど、しっかり声は出せたと思いました。そして、小学校の体育館やチャイムを久しぶりに聴いてなつかしい感じがしました。



